

## 大和川大橋（やまとがわおおはし）



写真-1 現在の大和川大橋

### (1) 橋の諸元

所在地：大阪市住之江区西住之江町～堺市堺区鉄砲町

道路名：国道 26 号

河川名：大和川

竣工：1937 年（昭和 12 年）

形式：ゲルバーヒンジを有する鋼 7 径間連続鋼桁橋

橋長：204.5m

幅員：20.8m～23.8m（歩道含む）

管理：近畿地方整備局大阪国道事務所

### (2) 周辺環境と橋の歴史

大和川大橋は、大阪と和歌山を結ぶ幹線道路である国道 26 号線が大和川を横過する位置に架けられた橋である。橋の歴史はわからないが、本橋は戦前の 1937 年（昭和 12 年）に開通しており、供用後 87 年も経過している。

橋歴板を見ると 1936 年（昭和 11 年）、汽車製造株式会社製作、荷重第一種、大阪府となっている。また、鋼材は八幡製鉄所とあり歴史を感じさせる。

構造形式は単純桁を基本に、径間部にゲルバーヒンジを設けて連続化した鋼桁橋であり、中央径間部の支間長は 31.2m である。

接合形式は全てリベット接合であり、鋼板を組み合わせる部材を構成し、部材と部材も全てリベットを用いて接合されている。

なお、床版は鉄筋コンクリート床版である。

### (3) 現況と課題

橋梁下面（上流側）の状況を写真-2に、ゲルバーヒンジ部の状況を写真-3に示す。

写真-2より、上流側（下り線側）に2主桁の新しい橋が併設されており、これは阪神高速大和川線に接続する左折車線を増設するため2013年（平成25年）に現橋を改築したものである。

また、写真-3は維持管理上あるいは耐震上よく問題となるゲルバーヒンジ部であるが、桁どうしを耐震連結ケーブルで繋ぎ橋軸方向の移動制限を行うとともに、橋軸直角方向の移動制限装置を設けている。また、落橋防止装置の一種である桁受け構造を設けており、耐震補強が行われていることがわかる。ただし、補強のレベルが現行の道路橋示方書（H.29.11・レベル2地震動）に対応しているかどうかは不明である。

その他、鋼桁は部分的に錆が出ているが腐食による断面欠損的な損傷は見られない。

また、鉄筋コンクリート床版については部分的に遊離石灰が見られ、下面から部分的ではあるが補修が行われているようであるが、供用年数と交通量の多さを考えると、いずれ打ち換えが必要になるかもしれない。



写真-2 橋梁下面（上流側）の状況



写真-3 ゲルバーヒンジ部の状況

#### ◇ 参考文献

- ・ WIDENING CONSTRUCTION OF YAMATOGA BRIDGE、駒井技報、2014